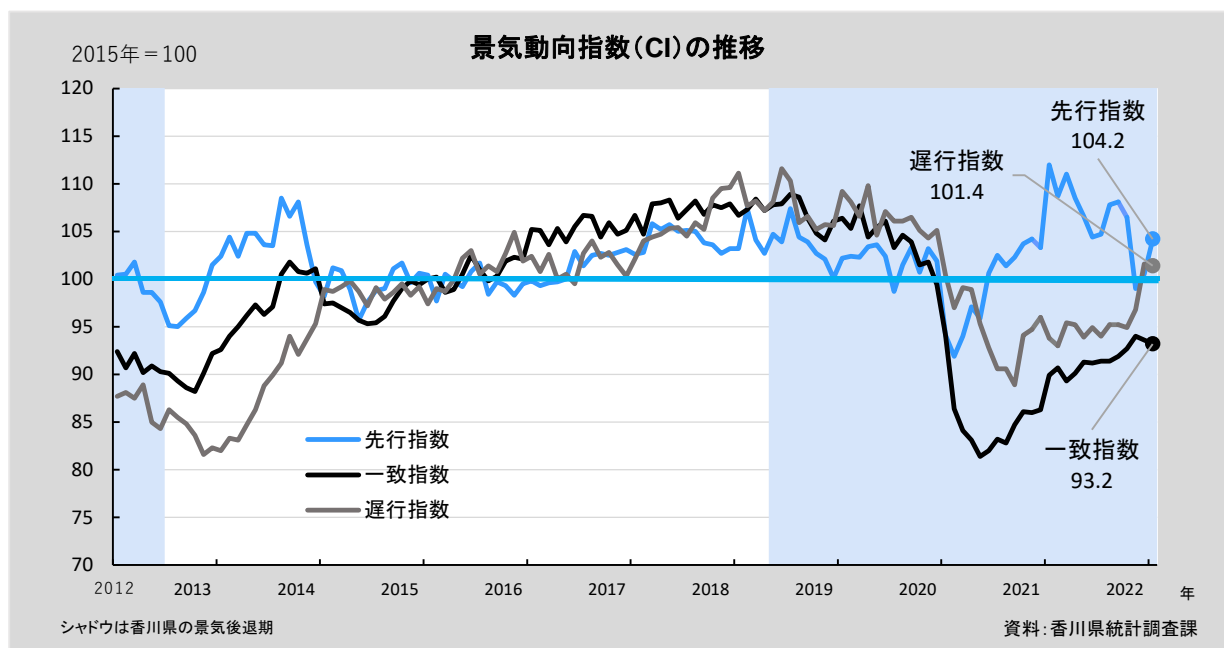


概況	景気は、一部に供給制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。
個人消費	緩やかに持ち直している。
住宅投資	弱含んでいる。
公共投資	減少している。
生産活動	横ばいで推移している。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	持ち直している。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続下降



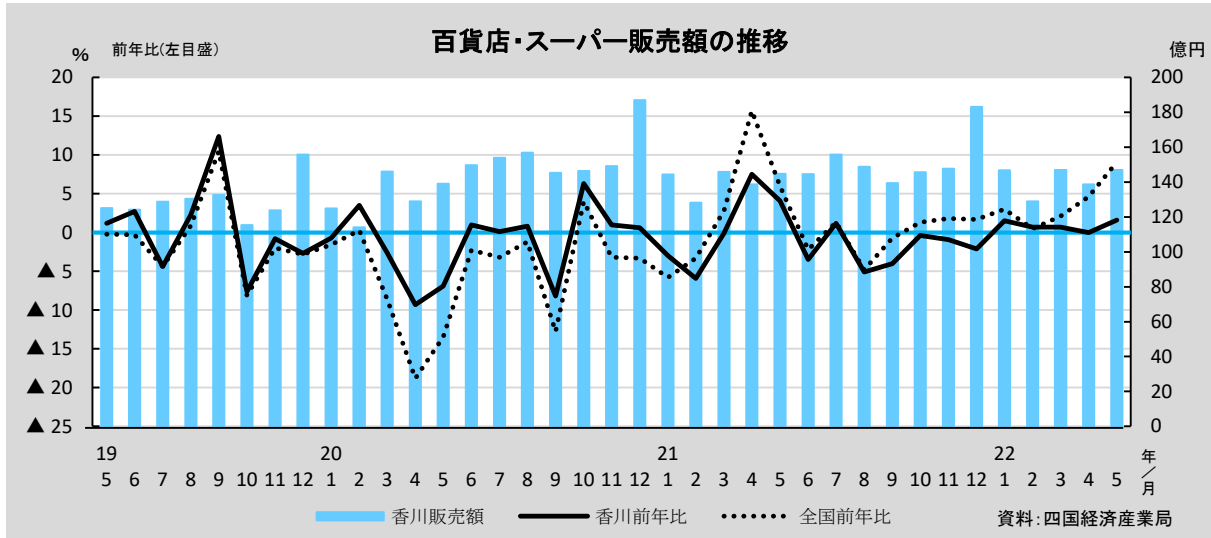
景気の現状をみると、4月のCI一致指数は93.2（前月比▲0.4ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は104.2（同+3.7ポイント）と2カ月連続で上昇。CI遅行指数は101.4（同▲0.2ポイント）と3カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、有効求人倍率、百貨店・スーパー既存店販売額などが下降に寄与したことにより、前月から0.4ポイントの下降となった。

先行系列		寄与度	一致系列		寄与度	遅行系列		寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	1.05	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.54	1 常用雇用指数	0.45		
	2 乗用車新車登録台数	1.30	2 有効求人倍率	▲ 0.34	2 有効求職者数	▲ 0.73		
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.22	3 所定外労働時間指数	▲ 0.15	3 消費者物価指数	1.40		
	4 生産財生産指数	1.01	4 鉱工業生産指数	0.61	4 家計消費支出	0.77		
	5 新設住宅着工戸数	1.21	5 鉱工業出荷指数	0.10	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.18		
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.23	6 建築着工床面積	0.22	6 法人事業税調定額	▲ 0.10		
	7 消費者態度指数	▲ 0.28	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.34	7 第3次産業活動指数	▲ 1.61		

●百貨店・スーパー販売額

5カ月連続増加 ↑

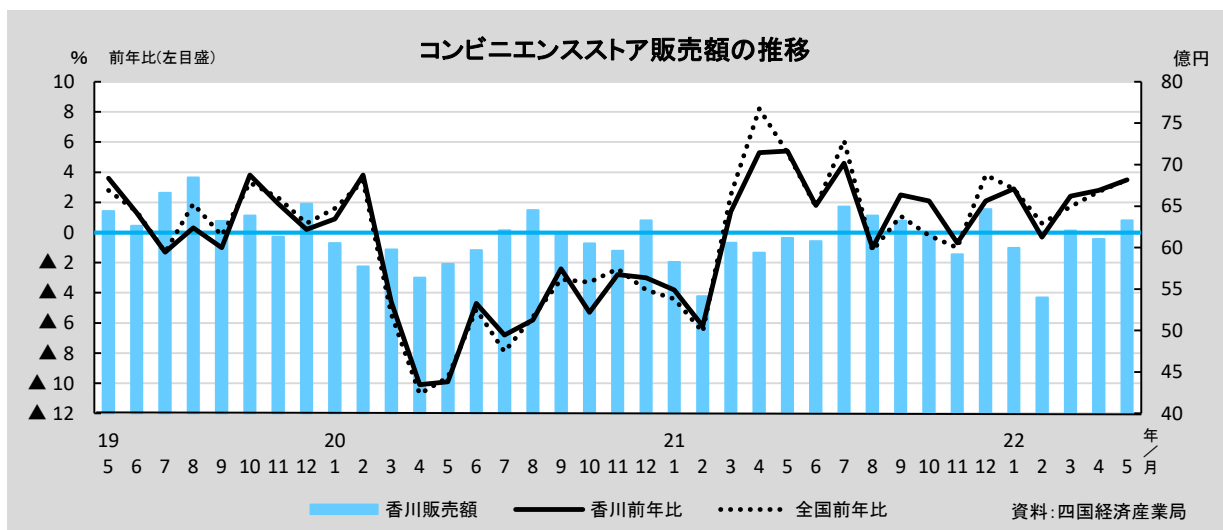


2022/5月	衣料品	身の回り品	飲食物品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	108,928	61,503	1,084,245	1,865	4,834	24,763	183,572	413	1,470,123
前年同月比(%)	▲13.5	▲26.0	▲0.7	▲0.9	▲35.8	▲2.4	▲4.6	▲28.7	▲1.6

5月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は147.0億円で、前年同月比+1.6%と5カ月連続で増加した。外出機会の増加に伴い、「衣料品」は前年同月比+13.5%、「身の回り品」は同+26.0%と好調だった。一方、「飲食物品」は内食需要が落ち着き、同▲0.7%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

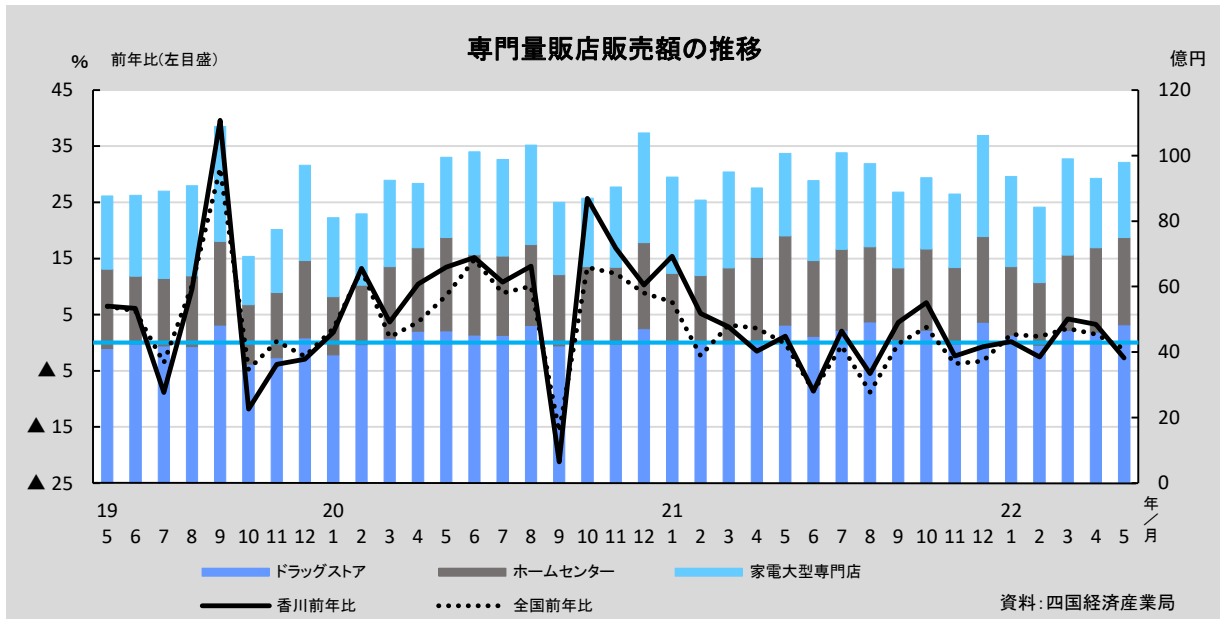
3カ月連続増加 ↑



5月のコンビニエンスストア全店（407店）の販売額は63.3億円で、前年同月比+3.5%となった。行動制限が緩和され、カウンターコーヒー、おにぎり、ソフトドリンクなどの動きが良く、3カ月連続の増加となった。

● 専門量販店販売額

3 カ月ぶり減少 ↓

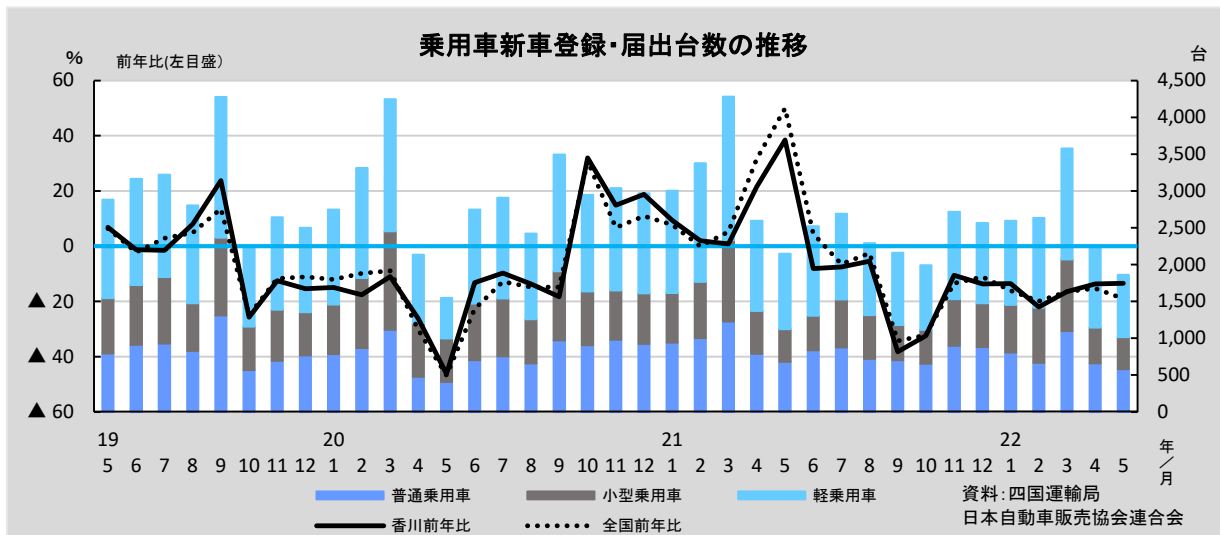


5月の専門量販店全店（209店）の販売額は97.9億円で、前年同月比▲2.7%と3カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、外出機会の増加などで入店客数が減少し、**家電大型専門店**（29店）の販売額は22.9億円で前年同月比▲8.8%、**ホームセンター**（46店）の販売額は26.7億円で同▲2.4%となった。**ドラッグストア**（134店）は、冷凍食品などの飲食料品が堅調に推移し、販売額は48.3億円で同+0.3%となった。

● 乗用車新車販売台数

12 カ月連続減少 ↓



5月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は1,860台で、中国上海のロックダウンによる部品供給不足の影響で、前年同月比▲13.4%と12カ月連続で減少した。

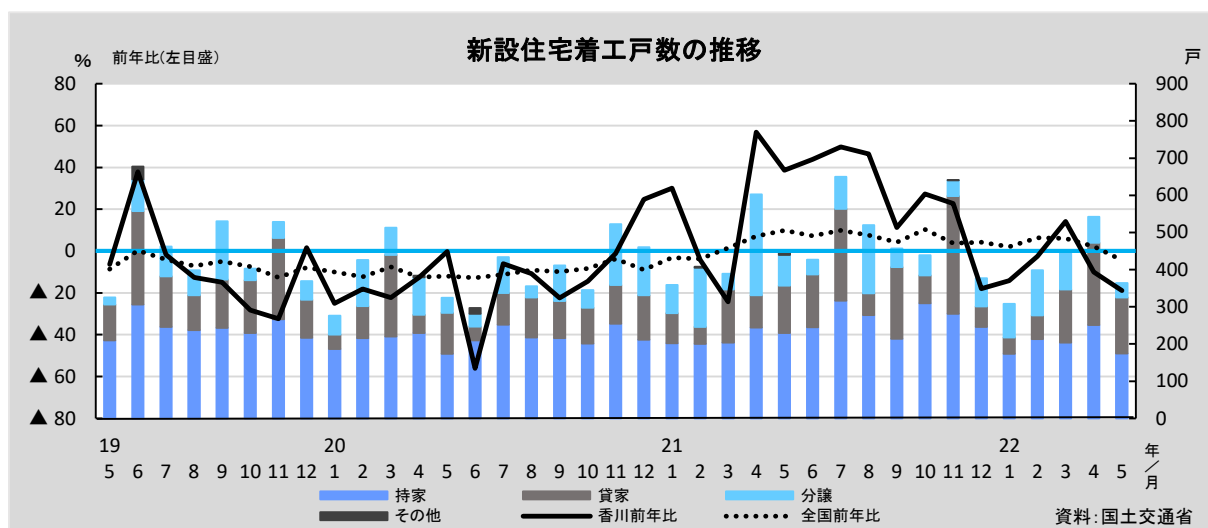
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲14.3%、小型乗用車で同▲3.4%、軽乗用車で同▲17.2%となった。

住宅投資

弱含んでいる

●新設住宅着工

2カ月連続減少 ↓



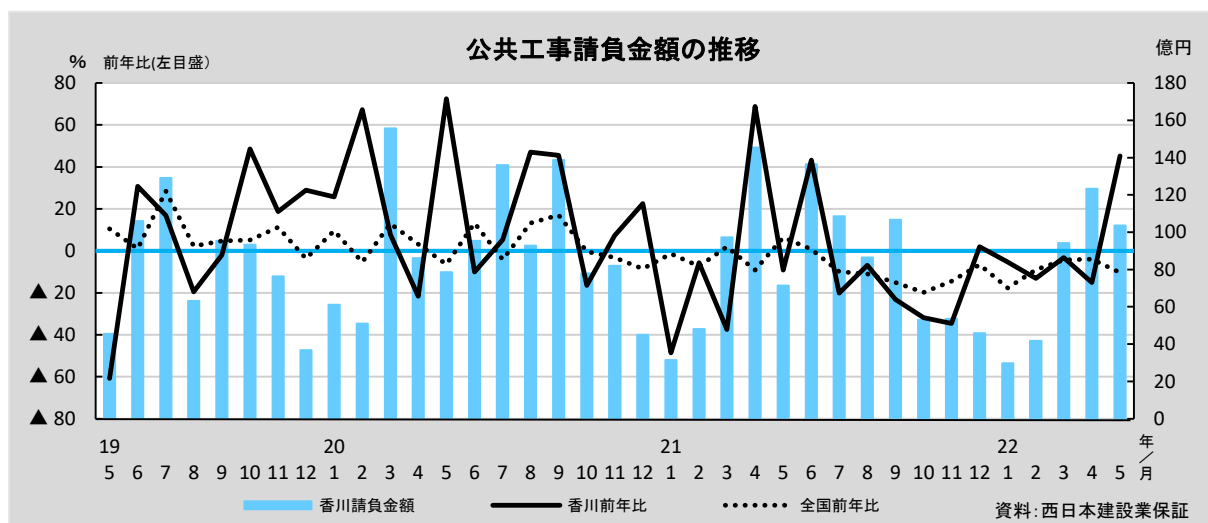
5月の新設住宅着工戸数は364戸で、前年同月比▲18.9%と2カ月連続で減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲23.9%、**貸家**で同+18.1%、**分譲住宅**で同▲53.0%となった。

公共投資

減少している

●公共工事請負金額

5カ月ぶり増加 ↑



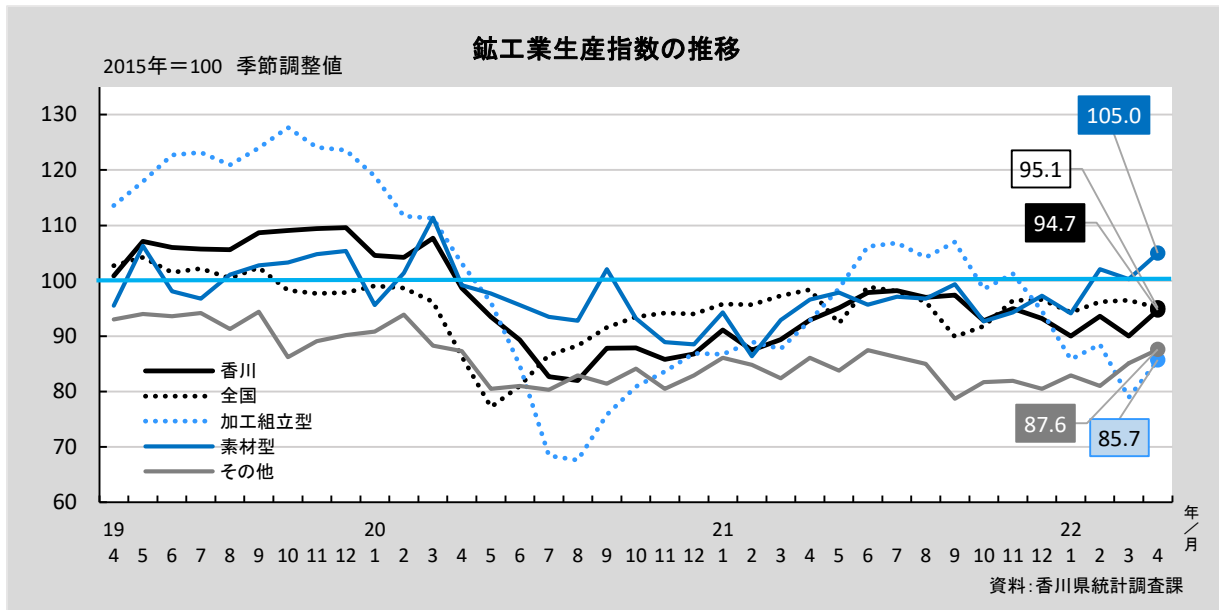
5月の公共工事請負金額は103.6億円で、前年同月比+45.2%と5カ月ぶりに増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲33.5%、**県**で同+356.8%、**市町**で同+21.4%となった。

生産活動

横ばいで推移している

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり上昇 ↑



4月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は94.7（前月90.0）となり、2カ月ぶりに上昇した。

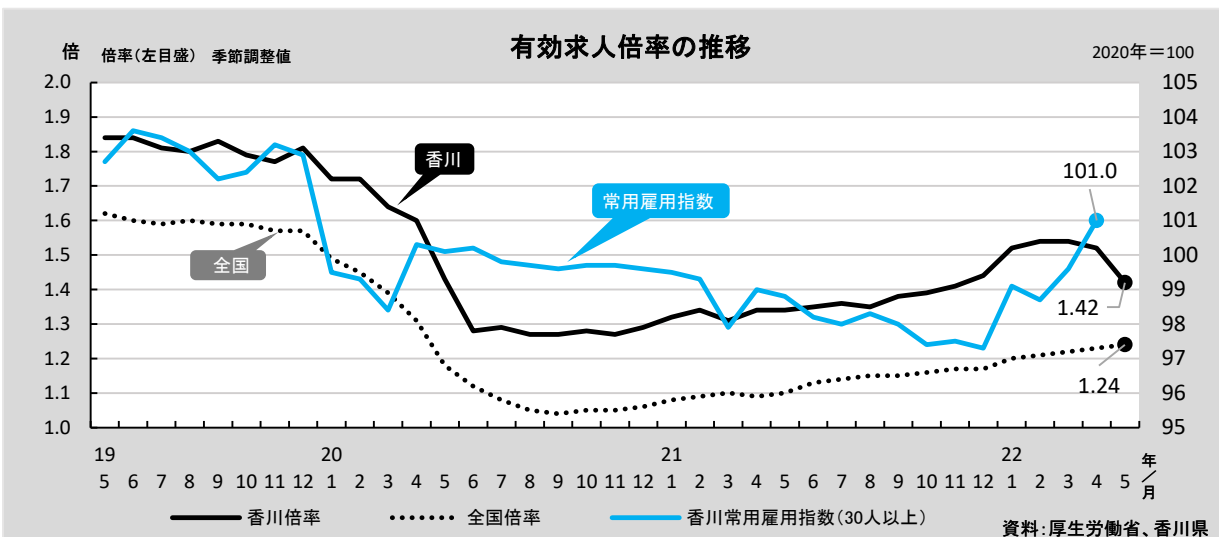
業種別では、加工組立型の電気機械工業（半導体・混成集積回路など）は前月比+14.4%、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同+9.2%と上昇した。一方、素材型のパルプ・紙・紙加工品工業（乳幼児・大人用紙おむつなど）は同▲9.9%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2カ月連続減少 ↓



5月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.42倍（全国18位）と前月より0.10ポイント低下した。

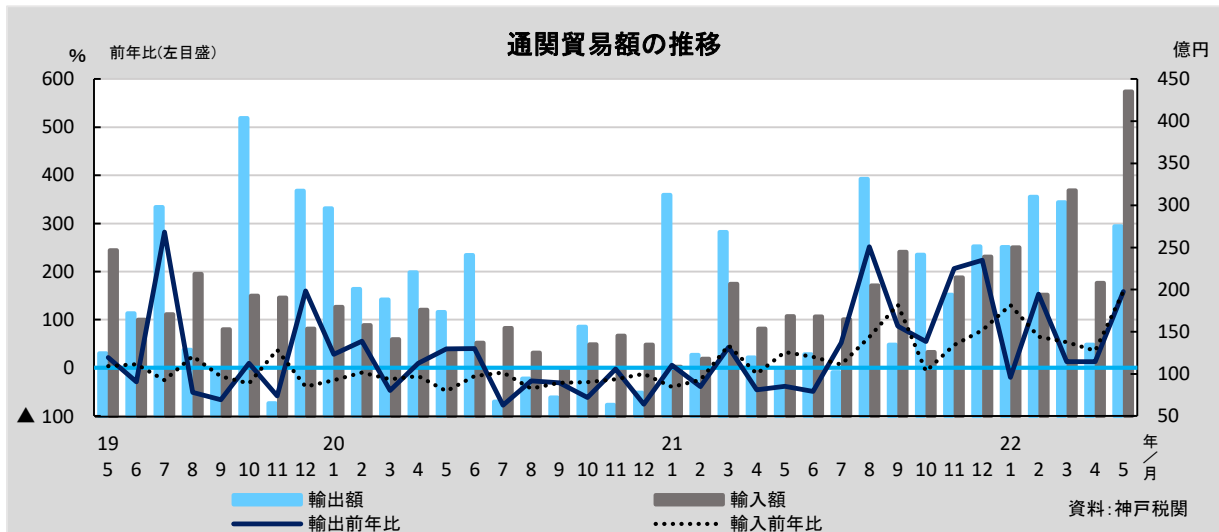
新規求人（原数値：前年同月比）は、電気・ガス・熱供給・水道業、生活関連サービス業、娯楽業、公務・その他等で増加し、全体で+11.0%と14カ月連続で増加した。

4月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、101.0となり、前年同月比は2カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.76
事務的職業	0.55
販売の職業	2.09
サービスの職業	2.88
生産工程の職業	2.42
輸送・機械運転の職業	1.89
建設・探掘の職業	5.65
運搬・清掃・包装等の職業	1.00

貿易

輸出、輸入ともに増加している



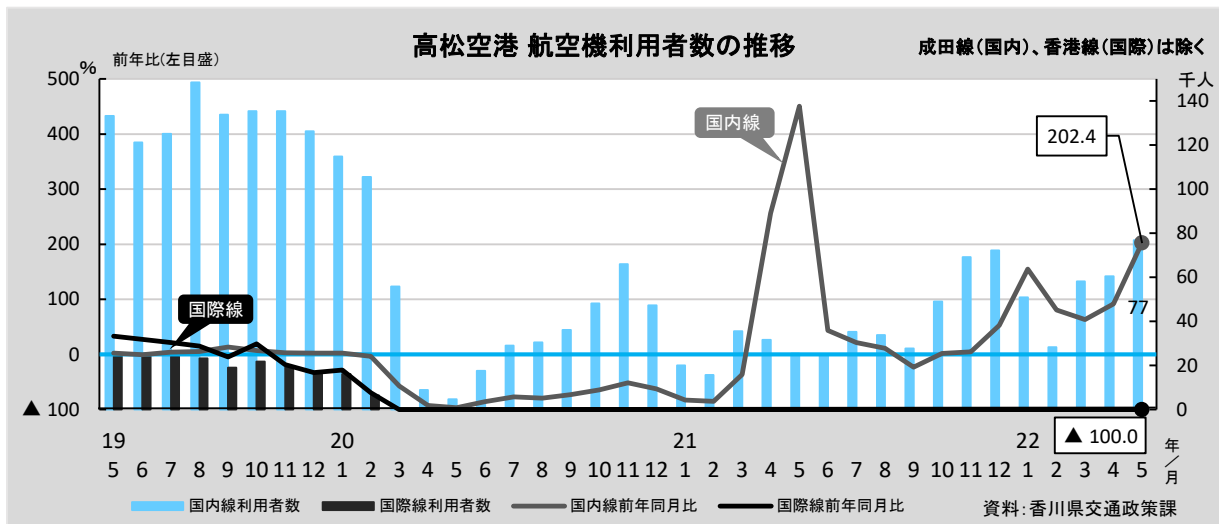
5月の輸出額は前年同月比+158.8%の275.3億円、輸入額は同+158.4%の435.2億円となり、差し引き159.9億円の入超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比4.3倍の141億円となった。輸入は、石炭輸入額が同4.8倍の245億円となった。

交通

国内線は8カ月連続増加、国際線は27カ月連続全面運休

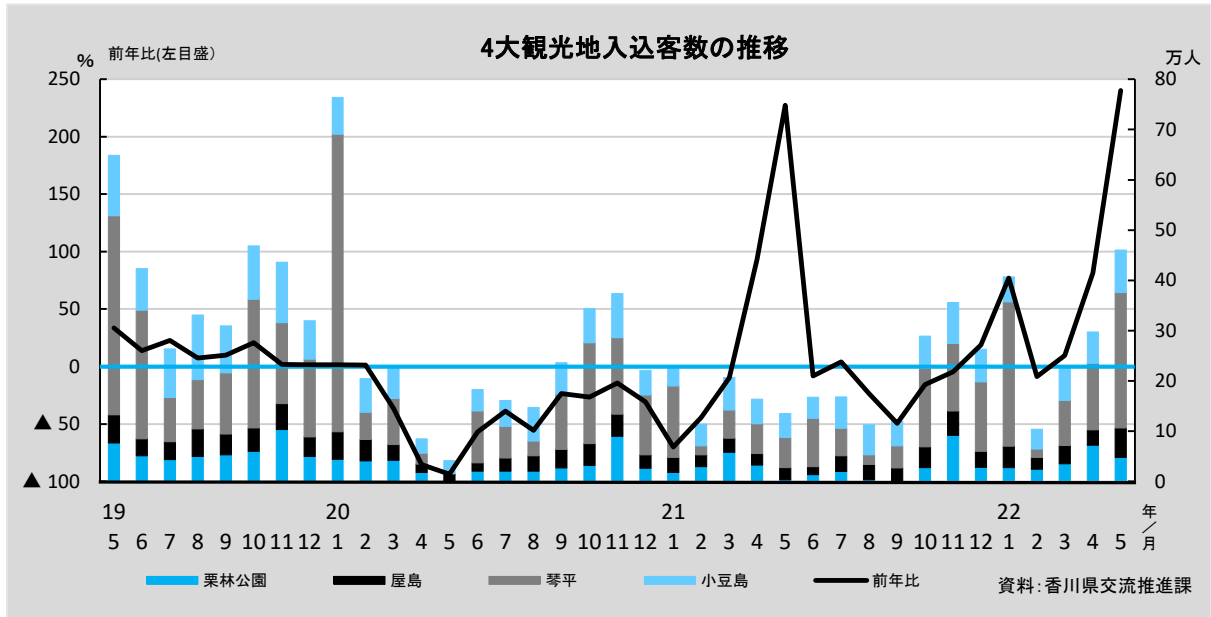
● 高松空港旅客輸送実績



5月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が76,870人(前年同月比+202.4%)となり、8カ月連続で増加した。羽田線は74,161人(同+199.6%)、那覇線は2,709人(同+306.1%)となった。コロナ禍前の2019年同月比では▲42.3%となった。

国際線(ソウル・上海・台北線)は新型コロナウイルスの影響により27カ月連続の全面運休となった。

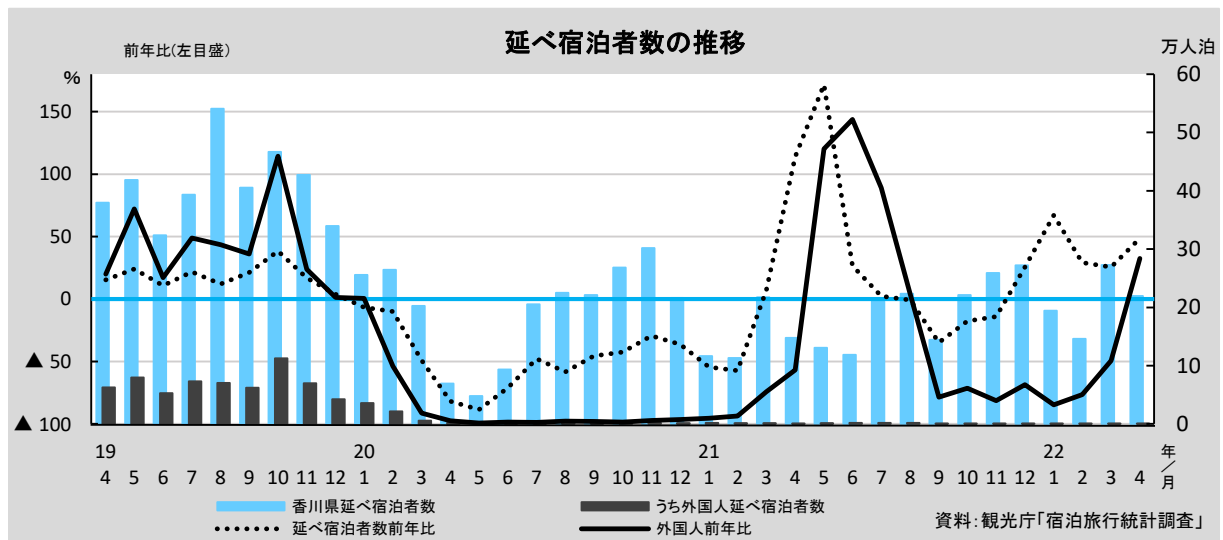
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
5月(人)	前年同月比	47,874	1258.1%	58,504	143.2%	269,000	348.3%	84,706	77.7%	460,084	240.2%
1~5月累計(人)		206,365	45.8%	191,515	49.2%	795,000	137.3%	302,501	23.5%	1,495,381	76.0%

5月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+240.2%と3カ月連続で増加した。栗林公園は同+1258.1%、琴平は同+348.3%となり、4カ所全てがプラスとなった。1~5月の累計では前年比+76.0%となった。

●延べ宿泊者数



4月の延べ宿泊者数は219,660人で、前年同月比+48.6%と5カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比では▲42.1%となった。うち、外国人延べ宿泊者数は940人となり、前年同月比+32.4%と8カ月ぶりに増加した。2019年同月比では▲98.5%となった。